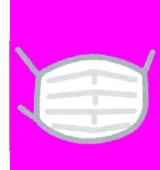


江戸取図書館便り

1月2号



(福寿草) — 図書館展示 —



*第一回江戸取図書館 POP 大賞

*図書館にPOPを展示しています

だいかん

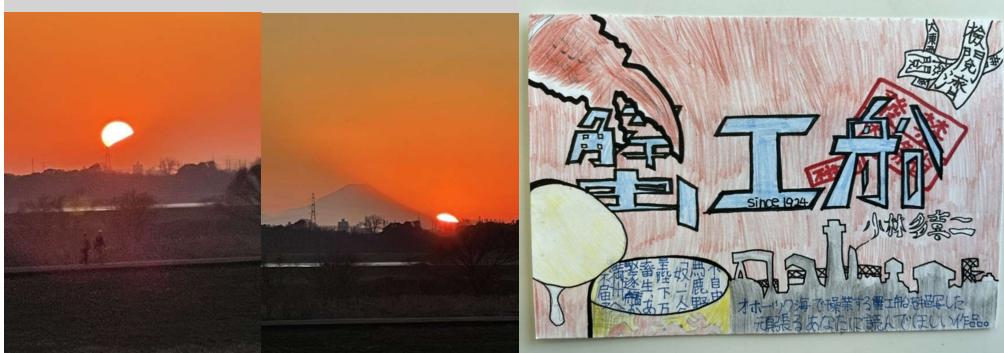
*大寒(2021年1月20日)の候

さんかんしおん

*三寒四温のこの頃です

*三寒四温とは、「三日ほど寒い日が続いた後に四日ほどあたたかい日が続き、これを交互にくりかえす現象。中国北部・朝鮮などで冬季に見られる」(広辞苑) *暖かくして本を読まれてください(司書)

*金賞(1作品)



*江戸取図書館から見える富士山(向かって左1月14日 右20日撮影)です。

*金賞受賞POP『蟹工船』小林多喜二著 中学2年生男子(図書館内に掲示)の作品です。この小説は、1929年発表。「プロレタリア文学」の代表作。*プロレタリア文学とは、「プロレタリア(賃金労働者)の生活に根ざし、その階級的自覚に基づいて、現実を階級的立場から描いた文学。日本では、大正末期から昭和初頭に大きな勢力に育ったが、弾圧によって1934年以後は潰滅」(広辞苑)

2021年1月21日

*銀賞(3作品)



*銅賞(9作品)



*図書館から見える富士山は、もっと真っ赤な日もあります。空気の澄んでいるような晴れの日に富士見をお勧めします。*富士見とは、「富士山を眺めること。また、それに都合のよい所。富士見酒の略」。富士見酒とは、「摂津(五畿の一つ、今の大大阪府西部と兵庫県南東部)で醸造した酒を船に積んで、いったん富士山の見えるところまで漕ぎ出し、再び漕ぎ戻して売ったもの。遠州灘の荒波にもまれて味が良くなるところからという」(広辞苑) *江戸時代富士見酒は、縁起ものだったのでしょうか(司書)